

恒例の

三菱館の大掃除を実施

昨年九月一日(月)に毎年恒例となつた、三菱館の大掃除を実施しました。

当日は残暑厳しいなか、町並みを考える会の会員、町並み案内ボランティアの会の皆さんと多数の協力を得て、二階のほこりにまみれた処から、館内の掲示板の移動、私物の撤去、床の補修、外壁や窓の掃除も手がけられました。

三菱館運営委員長
久保木勝夫



今回「小野川と佐原の町並みを考える会」の活動と努力の成績に快くお迎えできる事と、三菱館に来られたお客様を、快適に快くお迎えできる事と、

私達は、この大切な地域住民の宝を、今後より良い方向に活用し、町の活性化の起爆剤の一助となればと存じます。その為に、今後尚一層の保存・町づくりの方向を曲げる事なく、活動致します。

昨年十月二十一日、千葉県香取土木事務所に於いて、同事務所、佐原市、小野川と佐原の町並みを考える会、町並み案内ボランティアの会合同の

た。

的建造物群保存地区に選定されるまでは、町内説明会や懇談会など様々な形で、地域とのコミュニケーションを図つてきましたが、選定後はこのような活動が減つてしまつたために、地域や関係者の間に若干の意見の相違が見受けられるようになりました。

平成八年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されるまでは、町内説明会や懇談会など様々な形で、地域とのコミュニケーションを図つてきましたが、選定後はこのような活動が減つてしまつたために、地域や関係者の間に若干の意見の相違が見受けられるようになりました。

十月末から十一月上旬にかけて五回、地区別の懇談会を開催しました。企画しましたが、案内が不十分で集まりの少ない会となってしまいました。熱心に参加

①保存地区の拡張・拡大—小野川河口までの拡張、路地裏への拡大
②遊歩道・観光マップの作成—街中にもある観光スポットの紹介
③観光施設の整備—駐車場・食堂・宿泊施設の整備、高齢者や障害者の受け入れ体制の整備

平成十四年十二月十日(火)、日本テレビの番組「思いつきりテレビ」(司会:いっつきりテレビ)(司会:みのもんた)の中の「今日はなんの日」のコーナーで佐原が放映されました。

十二月十日は、私達佐原の町が「重要伝統的建造物群保存地区」として、関東で最初に国より選定を受けた、歴史的な一大イベントでした。

今、正に佐原は注目の的!「今日は何の日」平成八年十二月十日は、「重要伝統的建造物群保存地区」に、佐原が関東で最初に選定された日であります。

保存・町づくりは、正に官民一体の成果ですが、「小野川と佐原の町並みを考える会」の努力と活動が、地域の住民を動かしその結果の選定と言つても、決して過言ではありません。

私達は、この大切な地域住民の宝を、今後より良い方向に活用し、町の活性化の起爆剤の一助となればと存じます。

その為に、今後尚一層の保存・町づくりの方向を曲げる事なく、活動致します。

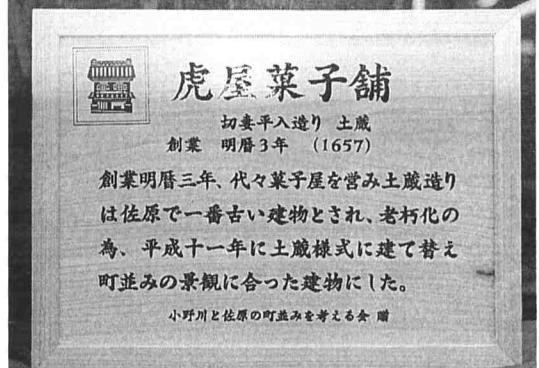
佐原の町並み保存が本格的に動き始めて十二年が経過しました。

佐原の町並み保存が本格的に動き始めて十二年が経過しました。

保存整備もだいぶ進み、観光客も増えて、今後の町づくりに町並み保存が期待されて

されました。皆様から次のような貴重な意見を伺うことができました。

日本テレビ「思いつきりテレビ」で佐原を放映!



小野川懇談会を行う

県香取土木事務所と

説明板設置特別委員会
委員長 高橋 正夫



参加者は県より松田香取土木事務所長を始めとして七名、市より三名、当会より七名、町並み案内ボランティアの会より五名の二十二名でした。香取土木事務所より、小野川周辺の河川整備事業第一期計画(平成三年度、十三年度)、第二期計画(平成十四年度)と小野川放水路事業の説明を受けた後、小野川两岸の石垣やだしの取り扱い、護岸への植栽、生態系の変化等について意見交換がされました。

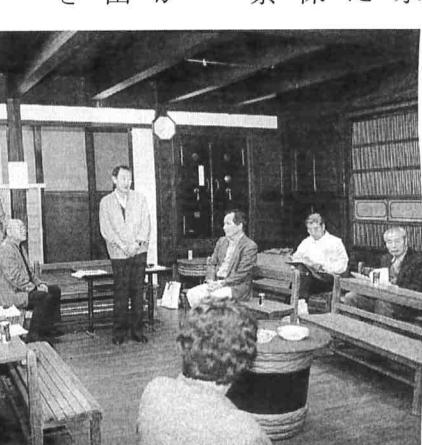
小野川の水質浄化や、だしも含めた護岸の整備、忠敬橋や協橋の復元等の課題や意見が多く出され有意義な懇談会でした。が、今後も年に一度位はこういう会合を持つ必要があるのではないかと思います。

佐原の町並みかわら版

第34号

平成15年1月
発行
原る存の会会
と考み
佐え保
川並み町
野並原わせ
お問い合わせ
三菱館 0478(54)7766

(4)修理・修景のより高い水準維持一本物指向・こだわりの推進、職人の確保と技術の向上、修理・修景基準の啓発と再確認
以上のような意見が聴かれました。本会としても出来るものから手掛けて行きたいと思います。



伝統的建造物等の説明板について

説明板について

先号(平成十四年八月発行)の「かわら版」でご案内いたしました、伝統的建造物等の説明板(写真見本)が、ようやく完成間近になりました。今回は二十基を作成して設置の予定です。

大切に保存されてきた貴重な文化財を仲介に、この説明板が佐原を訪れる方々と地元の方とのより一層のコミュニケーションのお役に立てればと願っています。